

## 大分大学生協 新入生に聴きました

第024号  
(通算457号)



[ 新学期 ]

### 取り組み概要

日時：2021年6月30日(水)  
場所：巨野原キャンパス食堂ホール  
参加者数や組合員の反応：計2回の開催で3~4人の新入生が参加し、新学期活動に関して活発に意見を出した。

背景や概要：大分大学生協の2021年度新学期活動振り返りの一環で行った、新入生に直接話を聞くという企画。京都大学や福井大学での事例を参考に、サポートセンターやPC講座などの各種サービスについて新入生のリアルな声を集めた。

新入生のリアルな声を直接聞き取り！

### POINT.1 アンケートでは聞けない生の声！

#### 「新入生に聴きました」の進め方

●目的  
新入生に寄り添った新学期事業を目指すために生の声を聴いて、来年の活動に生かします。  
①2021年新学期活動について、新入生の受け止めをリアルに知る。  
②特に「ネガティブ」な意見を聞いて、来年の改善ポイントにする。



この企画は2021年度新学期に大分大学生協で開催した新入生サポートセンターやPC講座、生協・共済加入やミールカードの提案などについて、参加者アンケートだけでは見えてこない新入生の本音を聞くという目的で開催されました。生協関係者内の振り返りでは、申し込みの増減などの数値や、サービスを提供する側としての理想しか出てこない、という課題がこれまであったのですが、新入生に直接話を聞くことでより組合員のニーズに沿った新学期事業を展開していくためのきっかけとなりました！

### POINT.2 先輩の進行で活発な意見交換！

当日はアドバイザーの先輩学生が新入生の班のグループリーダーとして参加し、話を回していました。新入生もいきなり職員さんと話すのではなく同じ学生という立場である先輩と話せたことでより意見が言いやすくなっていました！グループリーダーの先輩はただ意見を聞くのではなく、その背景にある理由までしっかりと引き出せるように話を振っていました。そんな先輩の姿に憧れたのか、企画終了後に参加者2名がアドバイザーにエントリーしてくれました！



### POINT.3 新入生自ら本音を発表！



グループでは意見を付箋に書いて模造紙に貼ってもらったのですが、多くの付箋が出されていました！その意見出しが終わると全体での共有の時間になりました。新入生自らに自分たちの意見を書いた付箋について発表してもらい、新学期活動に関する新入生目線の本音を共有してもらいました。その中で資料が見やすかった、説明会が楽しかった、などの良い意見があれば、パソコンが値段に対してスペックが低いため買わなかった、などの厳しい意見も寄せられました。参加者のリアルな声を取り入れることで一層新入生に寄り添った新学期活動に繋げていくことができると感じました！